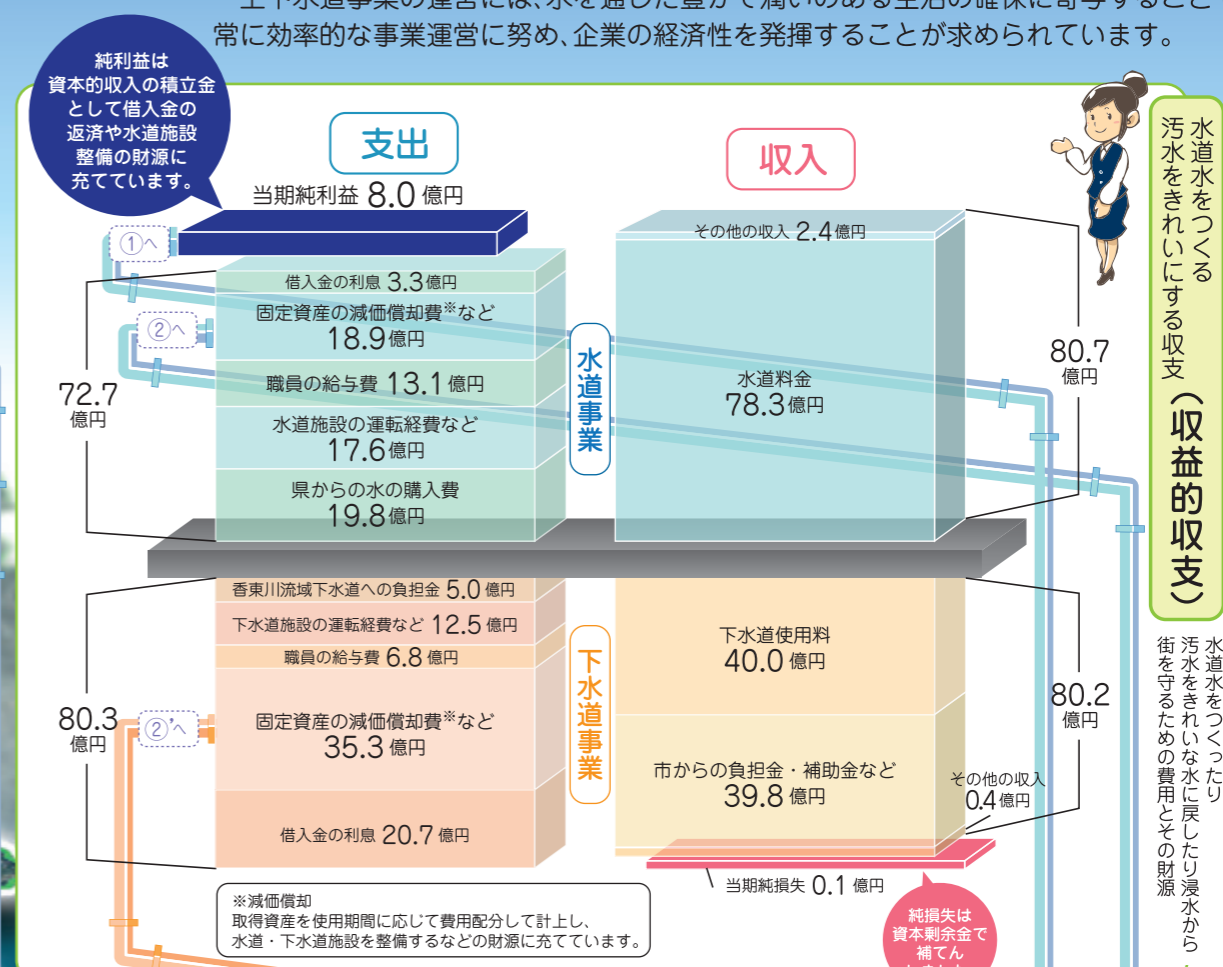


高松の水道・下水道 家計簿

平成24年度版

上下水道事業の運営には、水を通じた豊かで潤いのある生活の確保に寄与することや、常に効率的な事業運営に努め、企業の経済性を発揮することが求められています。

平成24年度の水道事業は、水道料金収入が前年度よりわずかながら上回り、県からの水の購入費が減少したことなどにより、当期純利益は前年度より増加しました。一方、下水道事業は、下水道使用料が前年度より増収し、職員給与や借入金の利息が減少したことなどから、市からの負担金・補助金が減少しました。



主な事業

皆さまからの水道料金・下水道使用料は、快適で安心な生活を提供するために、さまざまなお事業に使われています。

水道管の耐震化

地震に備えて、老朽化した管6,289mの取替えや、耐震性のある新しい水道管13,631mを布設しました。

汚水管の整備

第3次高松市生活排水対策推進計画に基づく公共下水道整備として、仏生山町などで口径75mm～300mmの汚水管を20,620m布設しました。

浸水対策

過去の浸水被害の実態を踏まえて、浸水被害を軽減・解消するために、雨水幹線や雨水ポンプ場の整備に取り組んでいます。

雨水バイパス幹線工事

平成15年度から25年度まで東部地区(寿、北浜、築地、松島、花園)で雨水排水用のバイパス管路工事を行い、25年8月に完成しました。

浅野浄水場の更新工事

市内の河川等から取水した水の約半分は、浅野浄水場で処理しています。取水から配水までを自然流下で行っているため、エネルギー消費量が少なく、環境に優しいことが特徴です。同浄水場では、平成21年度から30年度まで、老朽化した施設の更新と、栴川ダムからの取水に備えた施設の増設を行っており、平成24年度から26年度までは、急速ろ過設備の工事を行っています。



工事完了後は



丸亀町グリーンで再生水の供給開始

本市では、節水型街づくりを目指して、再生水(下水処理をした水)を、トイレの洗浄水や緑地帯の散水用に供給しています。平成24年度は「丸亀町グリーン」で再生水の使用が始まりました。



福岡ポンプ場土木工事

平成22年度から27年度において、雨水ポンプ場の増設を行っており、増設後の雨水排水能力は約9m³/秒から約20m³/秒に向上します。



旧築地小学校地下での工事の様子

